



## NPO 法人日本防火技術者協会 平成 24 年度通常総会 開催予告

日時：平成 24 年 1 月 24 日 (火)  
13:00~13:30

場所：東京理科大学 森戸記念館

議題内容《予定》

- 1) 平成 23 年度(2011 年度)事業報告
- 2) 平成 24 年度(2012 年度)活動計画
- 3) 平成 23 年度会計報告、平成 24 年度  
予算計画
- 4) 監査報告
- 5) その他(「JAFPE 防火技術者資格制度」  
について、他)



SFPE・J ニュース  
(SFPE 日本支部  
の活動 第 27 号)

## SFPE 日本支部 2012 年度通常総会 開催予告

日時：平成 24 年 1 月 24 日 (月)  
13:30~14:00

場所：東京理科大学 森戸記念館

議題内容《予定》

- 1) 2011 年度事業報告
- 2) 2012 年度活動計画
- 3) その他

## 防火研修会 開催予告 「耐火木造の設計方法セミナー」

2010 年の「公共建築物等木材利用促進法」施行により大型建築物に木材を使う機会が多くなっています。しかし、木造の耐火の性能と設計手法は周知されているとはいえ、耐火木造の建設には多くの困難があります。

本研修会では耐火木造の実現に向けた設計、施工の方法とスケジュールなどを経験者に語ってもらいます。

日時：2012 年 1 月 24 日 (火)  
14:00~17:30

場所：東京理科大学 森戸記念館

プログラム：

- ・耐火木造の可能性 (桜設計集団：安井昇)
- ・ルート A の設計方法—東部地域ふれあい  
拠点施設 (山下設計：安田俊也)
- ・ルート B の設計方法 (ティーイーコンサル  
リング：宮林正幸)

・ルート C の設計方法—木材に着火しない  
設計事例／新木材会館 (日建設計：福井  
潔)

詳細：http://www.jafpe.or.jp/

参加ご希望の方は info@jafpe.or.jp ま  
でメールで連絡下さい。

## 高齢者施設防火研修会 開催予告

高齢者施設などの避難安全WGでは、活動の一環として、高齢者施設の介護職員などを対象とした第 3 回の防火研修会を下記の要領で開催します。会員の皆様も奮ってご参加ください。

日時：2012 年 3 月 5 日 (月)  
13:00~17:00

場所：東京理科大学 森戸記念館

後援：東京理科大学、東京都社会福祉協議会  
プログラム《予定》

- 1) 東日本大震災における高齢者施設の  
被害状況 (大西一嘉)
- 2) 夜間火災発生時の行動マニュアルの  
解説
  - ・全体構成の説明 (栗岡均)
  - ・消防計画のたて方と消防への通報・初  
期消火訓練 (宇山幸逸)
  - ・避難訓練における目標避難時間の決め  
方 (小林恭一)
  - ・火災に気が付いたときの最初の行動  
〔個室の扉を閉める、バルコニーへ避  
難させる (富松太基)
  - ・火災感知器・スプリンクラー設備の役  
割、地震時のスプリンクラー周りの確  
認 (堀田博文)
  - ・どの排煙口をあけるか (笠原勲)
- 3) 徘徊防止のための鍵のあり方と避難  
訓練 (仲谷一郎)
- 4) 質疑応答

## 高齢者福祉施設見学・セミナー 開催報告

### 「チェリーコート四街道」 「四街道ケアセンターそよ風」

高齢者施設などの避難安全WGでは、活動の一環として、高齢者施設の介護職員などを対象とした出前講座を実施しています。3月5日に「なかめぐろホーム」〔特別養護老人ホーム〕での開催に引き続き下記の要領で第 2 回目の出前講座を実施しました。当WGでは、これら出前講座での知見をもとに夜間火災時の行動マニュアルを作成し、各地での出前講座に活用していく予定です。

日時：7月17日(日) 10:00~11:30  
聴講者：職員、入所者と近隣住人約 30 名

- 1) チェリーコート施設長(米川)挨拶
  - 2) 総合挨拶(佐藤博臣)
  - 3) 「もし火災が発生したら 老人介護施設における対応のポイント」(小林恭一)
  - 4) 「高齢者福祉施設における防火への取り組み 防火訓練 (FIG) 逃げるが勝ち」(大西一嘉)
  - 5) 質疑応答とその後の対応  
バルコニーへの避難やスプリンクラー設備、排煙窓等についての質問がありました。施設の見学と避難計画等についての提案等を行い、参加者の不安の一端を解消できたものと思われま。
- この講座で、避難上障害となるバルコニーの戸境壁の撤去等を提案し、その結果を受けて当該施設では、早速改修工事を実施されました。



「聴講者」



「講演の様子」



「四街道ケアセンターそよ風」



「チェリーコート四街道」



「バルコニーの戸境壁」

## 防火講演会 FM Global に関する講演会 開催報告

2011年9月6日16:00から東京理科大学森戸記念館で、米国防火関連団体であるFMに関する講演会が開催され、29名の参加がありました。

FM グローバル日本支店の内藤延彦氏及びFM アブルーバル・エルエルシー日本支店の伊藤忍氏をお招きし、以下の3項目について講演いただきました。

### 1) FM Global の概要

- ・FM Global は民間の保険会社であり、1835年に設立。
- ・1999年、関連4社が合併し、現在のFM Global が誕生した。
- ・業務は「エンジニアリング」と「損害保険」のパッケージで行っている。
- ・社員は約5000名、内1500名が技術者。

・エンジニアリング業務は「ロスプリベンションコンサルティング」であり、「防災技術の「実験・研究」、「製品承認」、「規格の制定」、「リスク評価」などである。

### 2) FM Global のリスクコントロール

リスクコントロールは顧客の総合的なリスクを低減させることを目的としており、リスクを把握し許容レベルに抑えられるように、予防とリスクコントロールのコンサルティングを行っている。

### 3) FM Global の活動・防災研究成果

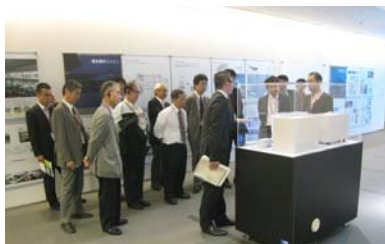
最近の研究成果としてスプリンクラーの研究結果についての説明がありました。

他に建築資材の要求性能や自然災害についての研究も行っています。

これらの講演を通して、日本の損害保険会社の業務と比較し「ロスプリベンションコンサルティング」関連業務の比重が非常に高いことが認識されました。

## 大林組技術研究所見学会開催報告

2011年10月5日に見学会を行い、非会員の一般及び同業他社の方も含む25名の参加がありました。最先端の環境配慮、最先端の安全安心、最先端の研究環境をコンセプトにした本館テクノステーションで、避難安全計画、耐火設計、最高水準の省エネやなどの説明を受けた後、知的生産性向上をめざしたワンルーム型ワークプレイス、世界初のスーパーアクティブ制震システムなどを見学させていただきました。



## 防火研修会 開催報告 Dr.曾偉文 講演会

11月29日17時から東京理科大学森戸記念館で Dr.曾偉文(英国アルスター大学)台湾中央警察大学・消防学科准教授(台湾 SFPE 支部書記長)による Comparing the fire safety in existing small-scale hospitals between Japan and Taiwan 「既存小規模病院における火災安全性に関する日本・台湾の比較考察」と題する病院研究に関する講演会が開催され、25名の参加者がありました。

台湾では、病院経営上の理由も背景として、既存ビルの複数ユニットを改修して病院に改装した小規模病院が多くあり、そのなかには避難計画の面から問題のあるケースも少なくないようです。講演者の曾氏は、台湾の厚生省とも協力して「ファジーデルファイ法」と呼ぶ簡易な評点方式によるリスク分析手法を作り、台湾国内の小規模病院について調査を行ないました。台湾は、種々の諸制度を日本から取り入れているので共通する課題も多いことから、東京理科大学の招聘研究員制度によって来訪している期間中に日本の小規模病院においても同じ手法を使って評価を試み、日本と台湾における共通点や違いについて調べ分析されていました。

今回の講演は、この簡易な評点方式によるリスク分析手法の概要紹介と台湾での調査、および日本との比較分析についてお話いただきました。

## SFPE 年次総会・受賞報告

10月23、34日にSFPE2011 Annual meeting に福井理事長が参加しました。参加の理由は、今年日本支部が Chapter Excellence Award の Bronze 賞を受賞したため、その表彰式に出席するためです。この受賞は、支部会員の活動や、関沢副理事長を中心としたアジア地区の SFPE 支部間の交流活動が評価されたものだと思います。表彰式は、SFPE の理事会の中で行われたため、会長以下理事が出席の中で SFPE の現状や、課題を知ることができました。

SFPEの会員は約5,000人年間予算は約1.27億円です。会員拡大の方策として、支部活動の活性化や学生会員による支部を組織して、支部活動を認めることが紹介されていました。また情報通信技術の活用



# 日本防火技術者協会ニュース

特定非営利活動法人日本防火技術者協会

にも努力していて、SFPEのホームページの見直しや、WEBを通じた会員向け研修、BIMの防火分野への活用などが話し合われていました。日本支部にとってのもう一つの良いニュースは関沢副理事長がPeter Lund Awardを受賞したことです。受賞の理由は、前述のアジア地区における支部交流活動の中核としての役割が評価されたものと思われます。関沢副理事長は所要のため表彰式に出席できなかったため、福井理事長が代理で受領しました。今後とも本部との関係を密にしながら日本支部活動の活性化を図っていききたいと思えます。



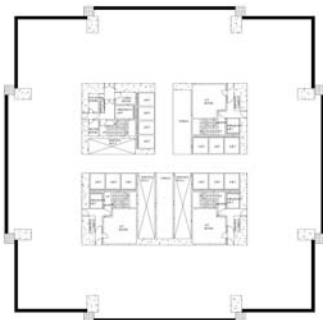
SFPE 理事会の様子  
演壇の女性が会長 Deborah F.Boice

## SFPEケーススタディWG

2012年6月20日～22日に香港で開催されるSFPE主催の第9回性能設計と火災安全設計法に関する国際会議のケーススタディの課題が提示され、今回もJAFPEとして参加することにし、検討を開始しました。

課題は490mの住宅、事務所、商業からなる超高層で、スレンダーなプロポーションや上階工事中の下階利用など香港らしいスペックが盛り込まれています。

2012年2月17日が報告書の提出期限です。ケーススタディ発表者はシンポジウムへの参加登録費が免除されます。



諸外国の性能設計の実情に触れられるよい機会です。引き続き参加者を募集していますので奮ってご参加ください。参加希望者は、福井理事長 ([fukui@nikken.co.jp](mailto:fukui@nikken.co.jp)) までメールでご連絡ください。

なお、シンポジウムでの論文発表の募集もされています。希望者は直接申し込み下さい。

## 職能WG 活動報告

2011年は、2月10日、4月18日、6月14日、8月4日、10月28日、12月8日の6回開催し、

1. JAFPE 防火技術者とは
  2. JAFPE 防火技術者の社会的他役割
  3. JAFPE 防火技術者の保有技術
  4. 倫理規定
  5. 保有技術と呼称法
  6. 継続的職能開発
  7. JAFPE 防火技術者の想定人数
  8. JAFPE 防火技術者の認定手順
- 等について検討しています。

防火技術者の認定制度の案は笠原理事から総会にて説明の予定です。

## 会費納入のキャンペーン

今年も、あと残すところ1カ月となりましたが、今年の会費の納入状況が今一つの状況です。会費は協会の活動の基盤となるものですので、まだ納入されていない方は是非納入をお願いいたします。今年から、郵便局へ出向かなくても、WEB上で納入手続きができるようになりましたので、ぜひご利用ください。

## 理事会等 開催報告

理事会を以下の日に実施しました。  
9月2日(金)、10月11日(火)、  
11月22日(火)

## 新入会員(敬称略)

### 〔会員〕

重岡邦昌(株)セーフティリソース



**Journal of**  
**Fire Protection Engineering**  
**Vol.21, No.3, August 2011**

SFPE classic paper review: Interim guide for goal oriented systems approach to building fire safety by Harold E. 'Bud' Nelson (有名論文のレビュー: 建築火災安全における目標指向型アプローチのための暫定ガイド) EK Budnick

A performance-based for evaluating fire resistance of prestressed concrete double T-beams (プレストレスコンクリートW-T梁の耐火性能を評価するための性能設計) V Kodur and NR Hatinger

A methodology to determine pre-crash fuel quantity from post-crash fire thermal damage to an aircraft structure(衝突後の航空機への火害から衝突前の燃料搭載量を推定する方法) N Alvares and AC Fernandez -Pello

**Journal of**  
**Fire Protection Engineering**  
**Vol.21, No.4, November 2011**

Obituary (追悼記事: ハロルド ネルソン氏) M Hurley

Collapse of concrete columns during and after the cooling phase of a fire (冷却期及び冷却後のコンクリート柱の崩壊) MS Dimia, M Guenfold, T Gernay and J-M Frassen

Evaluation of Monte Carlo method for modeling glazing behavior during radiant exposure (放射熱に曝されるガラスの挙動のモンテカルロ法の評価) L Li, Q Xie and H Zhang

Thermal response of steel structure to fire : test versus field conditions (火災時の鋼構造の熱応答: 試験と実火災における条件) KJ LaMalva

**Fire Protection Engineering**  
**No.51, 3<sup>rd</sup> Quarter 2011**

Negotiating Risk Allocation in Design Service Contracts : Issues to consider during contract formation and negotiation. (設計契約における交渉リスクの配分: 契約時及び交渉時における諸問題) James F. Lee, Jr., Esq., and Michael F. Germano, Esq., Lee & McShane

Professional Practice : The path to professional engineer licensure. (プロの実務: PE免許取得への道) R. Thomas Long, P.E., and Neil Wu, P.E., Exponent, Inc

Demise of the Digital Alarm Communicator Transmitter (DACT) : How changes to the communications infrastructure are impacting fire alarm systems. (デジタル発信警報機 DACT への移行: 通信インフラの変化が火災報知システムに与える影響) Art Black, Carmel Fire Protection Associates

Professional Qualifications for Designers of Fire Alarm and Signaling Systems : What makes a designer "qualified" ? (火災報知システム設計者の職能資格: 設計者が資格認定されるためには何が必要か?) NEMA